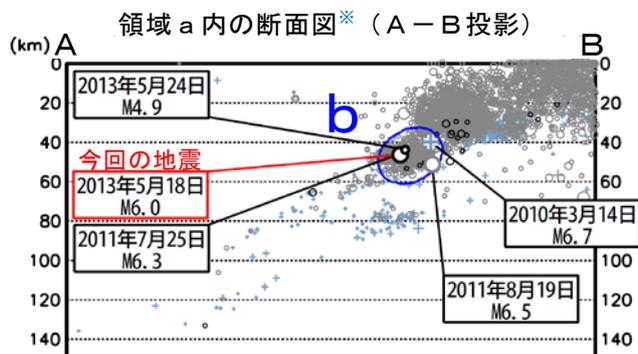
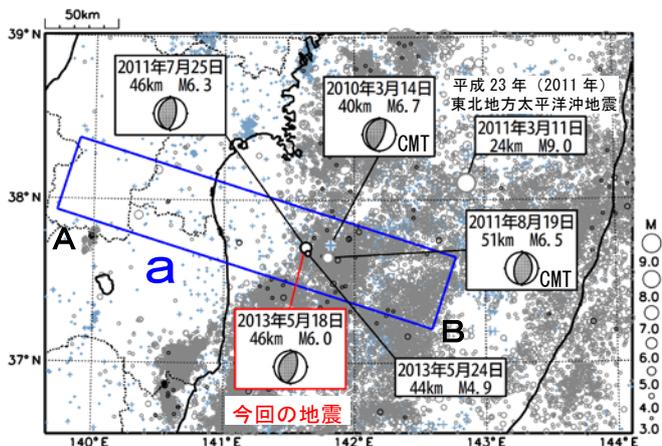


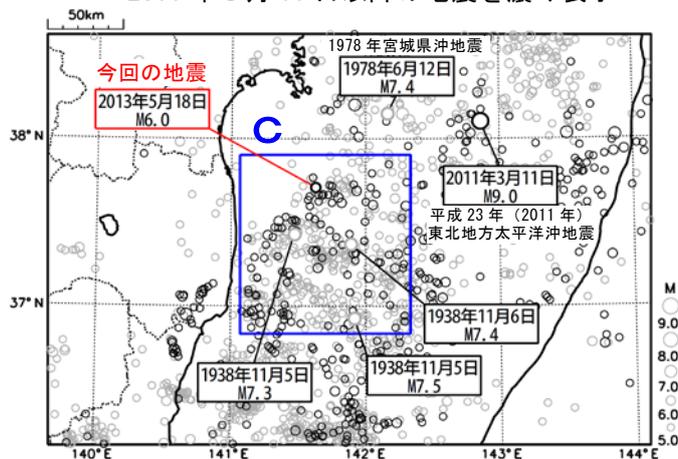
5月18日 福島県沖の地震

震央分布図※
(1997年10月1日～2013年5月31日、
深さ0～150km、M≥3.0)

東北地方太平洋沖地震以前に発生した地震を+、東北地方太平洋沖地震発生以降に発生した地震を薄い○、2013年5月以降に発生した地震を濃い○で表示



震央分布図※
(1923年1月1日～2013年5月31日、
深さ0～150km、M≥5.0)
2011年3月11日以降の地震を濃く表示

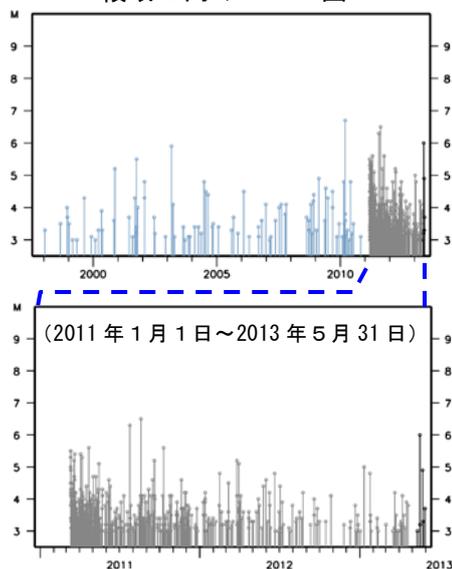


※2011年3月13日～5月30日に未処理のデータがある。

2013年5月18日14時47分に福島県沖の深さ46kmでM6.0の地震 (最大震度5強) が発生した。この地震の発震機構は西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した地震である。また、ほぼ同じ場所で、5月24日にM4.9 (最大震度3) の地震が発生した。

1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近 (領域b) では、M4.0以上の地震が時々発生していたが、「平成23年 (2011年) 東北地方太平洋沖地震」の発生以降、2011年7月25日にM6.3 (最大震度5弱) の地震が発生するなど、地震活動が活発になっている。

領域b内のM-T図※



1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺 (領域c) では、1938年11月5日にM7.5の地震が発生し、宮城県花淵で113cm (全振幅) の津波が観測されたほか、死者1人、負傷者9人、住家全壊4棟、半壊29棟などの被害が生じた (『最新版 日本被害地震総覧』による)。

なお、この地震ではM7クラスの余震をはじめ活発な余震活動を伴った。

領域c内のM-T図※

